



RACE ARCHIVE Rd.3-6-7

**FUJI  
SPEEDWAY**

www.inging.co.jp

**#5  
NEWS PAPER**

TODAY'S RACE Rd.8

**Sportsland SUGO  
8SAT-9SUN Aug**

## RACE ARCHIVE

Rd.6 富士スピードウェイ  
FUJI SPEEDWAY

決勝 7月18日(土)  
天候:曇り/雨  
路面:ドライ/ウエット

### 大湯、果敢たるスタート!!

第7戦の公式予選の後も、富士スピードウェイは曇天が続き、午後4時15分から行われた第6戦の決勝レースを前に、時折雨がパラっていたものの気温25度/路面温度29度というドライコンディションでスタートの時を迎えた。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは、大湯が2番手、阪口が6番手からスタートを切った。「2番手ですが、まわりはドライがあまり良くない顔ぶれが多いので、早めに抜いておきたい」と語っていた大湯は、スタート直後のGRコーナーでポールスタートの#19 ザック・オサリバンに襲いかかるも、オーバーテイクはならず。2番手でオープニングラップを終えた。



### 阪口、挽回するも降り出す雨

一方、6番手からスタートした阪口は「この週末の3レースのうち、この第6戦がいちばん勝つチャンスがあると思っています」と気合をもって臨んだが、スタートはうまく決めることができず、その後のGRコーナーへの位置取りでも順位を落としてしまう。1周目の阪口の順位は8番手。その後阪口は#28 小林利徳斗をかわすなど、スタートで落とした順位を挽回していった。そんな決勝だが、スタートから6周が過ぎるころになると、部分的に雨が落ちてきた。この雨が大湯にとってはプラスとなり、一時はトップの#19 オサリバンとの差を縮めるものの、雨が小康状態になり出すとペースが苦しくなってしまう。大湯は雨が止むと次第に#19 オサリバンとの差を広げられ、さらに後方からは阪口など上位陣をかわしてきた#5 牧野任祐、#6 太田格之進が接近してきた。

### 雨脚が弱まったと判断した

11周を過ぎ、ビットウインドウがオープンするも、雨が強くなる恐れもあり、なかなか上位陣はビットに向かうことができていなかった。そんな中、雨脚が弱まったと判断した阪口は、16周を終えビットインを行った。一方、大湯は早めのビットインを希望していたが、ややコミュニケーションに手間取り22周でビットイン。ビットアウト後、一時は#5 牧野と競り合うシーンもあったが、4番手でレース終盤を迎えた。結果的に、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは大湯が4位、接触でホイールにダメージ負ったものの、阪口が7位でフィニッシュした。グリッドを考えれば順位を落としており、悔しい結果ではあるが、翌日の第3戦、第7戦に向けてドライ路面でのデータも得ることができた。阪口は早めのビットインが功を奏し5番手につけたが、6番手の#65 イゴール・オオムラ・フラガとのバトルを強いられた。終盤、GRコーナーで#65 オオムラ・フラガと競り合った際に、わずかに接触してしまうことに。その隙を突かれ、後方を走っていた#12 小出峻にも先行を許すことになった。

Results 38 阪口 晴南 予選 6位 決勝 7位

39 大湯 都史樹 予選 2位 決勝 4位

## RACE ARCHIVE

Rd.3 決勝 7月19日(日)  
天候:曇り/雨  
路面:ドライ

### 中止となった、第3戦 再びスタート

第6戦が行われた7月18日(土)は夜半まで雨が降り続いていた富士スピードウェイだが、7月19日(日)は雨は止み、晴れ間も見える天候となった。第3戦の決勝スタート時となる午前10時05分は気温29度/路面温度34度というコンディションで、路面はほぼドライになっていたものの、わずかに濡れた部分も残っていた。この第3戦は、4月26日(日)にオートポリスで開催予定だった一戦の雨天順延のレースで、周回数は25周、ビット義務なしのスプリントで争われた。また4月25日(土)に行われた公式予選のグリッドがそのまま採用されており、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは阪口が5番手、大湯が11番手からスタートを切った。

### 抜群のダッシュを決めた阪口



多くのファンがスタンドを埋めるなか、抜群のダッシュを決めたのは5番手スタートの阪口。アウトからポジションを上げ、一気に#6 太田格之進に次ぐ2番手に浮上する。また11番手スタートの大湯も8番手に浮上。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの2台は、そろってポジションを上げてみせた。一方で、ポールポジションスタートの#1 岩佐歩夢がGRコーナーで接触するアクシデントが発生し、レースはオープニングラップからセーフティカーランとなった。このセーフティカーは9周までコース上に留まり、10周目にいよいよリスタートを迎えた。

### 攻防の末、2回目のセーフティカー

リスタート時、阪口は#6 太田に合わせ加速するも、逆に3番手の#16 野尻智紀、4番手の#65 イゴール・オオムラ・フラガとストレートで並びかけられる。阪口はアウトから#6 太田に並ぶも、イン側には#16 野尻、#64 オオムラ・フラガがおり、アウトにしか行き場がなくなってしまう。阪口と#6 太田の2台はともにアウトにはらんでしまい、2台にかわされてしまった。ただその直後、レースは2回目のセーフティカーランとなった。#10 JUJU がストップしたため、15周目にこのセーフティカーは退去したが、阪口は順位を奪回すべく、前の#16 野尻に仕掛けていった。

### 表彰台争の阪口に悲劇

この攻防では阪口は順位を上げることはできなかったが、それでも#16 野尻に仕掛けられる位置につけていた。しかし、表彰台争いを展開していた阪口にまさかの悲劇が襲った。ギャガが3速にスタックしてしまい、力なくスローダウン。ビットに戻ると、無念のレースを終えた。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGにとっては悔しい一戦となってしまったが、2回目のリスタート後、#37 サッシャ・フェネストラズをかわした大湯が6番手からさらに順位を上げるべくブッシュを続けた。終盤、5番手の#5 牧野任祐に詰め寄ったが、逆に後方から#37 フェネストラズに最終周でかわされてしまった大湯は、最後は#6 太田のタイムペナルティもあり6位となった。



Results 38 阪口 晴南 予選 5位 決勝 リタイア

39 大湯 都史樹 予選 11位 決勝 6位

## RACE ARCHIVE

Rd.7 決勝 7月19日(日)  
天候:曇り/雨  
路面:ドライ

### 阪口車の修復、大湯車の改善後の決勝レース

第3戦から約4時間半というインターバルで迎えた第7戦の決勝レース。天候は曇り空で午前と変わらず、気温29度/路面温度36度というコンディションで迎えた。SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGは、第3戦でミッショントラブルに見舞われてしまった阪口車の修復、さらに大湯車の改善に取り組み午後3時35分からの決勝レースに臨んだ。前日の公式予選では8番手につけていた阪口、12番手につけていた大湯はスタートに向け緊張感を高めていったが、ふたたびグリッドに並んだ時点で、まさかのスタートディレイとなってしまう。大湯の隣のグリッドで、フォーメーションラップで前を走っていた#64 佐藤連の車両からオイルが漏れており、コース全周に渡って清掃作業が必要になってしまう。この作業には45分という長い時間を要し、午後4時20分、セーフティカー先導のもとようやくスタートが切られた。

### 再び熱戦

セーフティカーは6周目に退去し熱戦が始まったが、阪口は#8 山下健太をかわし7番手ポジションアップ。また大湯は#14 福住仁嶺と競り合う間に#50 野村勇斗に先行を許すが、逆に11周目には#50 野村を豪快にオーバーテイクするなど、これまでの2戦よりも好レースを進めた。11周を終え、ビットウインドウがオープンすると、チームはまず大湯をビットに呼び戻す。ここで#22 松下信治を先行することに成功し、さらに14周を終えると序盤6番手を走っていた#1 岩佐歩夢の後方につけるなど、トップ争いには至らないまでも、順調にレースを進めていった。一方、阪口は7番手からビットインを遅らせる作戦を採り、後方から迫る#8 山下を従えながらレース中盤を迎えていった。チームはビットインのタイミングをうかがいながら、25周を終えてビットへ。迅速な作業で送り出した。レースが終盤を迎えると、アンダーカット作戦を採った大湯がポジションを上げ7番手につける。一方、阪口は順位を落とし11番手。フレッシュなタイヤを活かし追い上げを目指したかったが、前を行く#7 小林可夢偉にはなかなか迫れず、33周目にペースが急激に落ちた#22 松下をパスしたものの、急速にポジションを回復するまでにはなかなか至らなかった。終盤、7番手の大湯を先頭に#14 福住、#7 小林可夢偉、阪口と続くオーダーでレースが進んだが、40周目に#8 山下が阪口をパス。阪口は11番手となり、入賞には届かずそのままレースを終えることになった。一方で大湯は、順位を守り7位でフィニッシュ。この3戦すべてでポイントを獲得することができた。変則的な3レース制で、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGはそれぞれに課題と収穫を得て週末を終えた。

### 大湯、ポイント獲得へ

大湯は、順位を守り7位でフィニッシュ。この3戦すべてでポイントを獲得することができた。変則的な3レース制で、SANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGはそれぞれに課題と収穫を得て週末を終えた。

Results 38 阪口 晴南 予選 8位 決勝 11位

39 大湯 都史樹 予選 12位 決勝 7位

TODAY'S RACE Rd.8 Sportsland SUGO 8SAT-9SUN Aug

To be Continued...